

【PET-CT検査の流れ】

①受付



②更衣
検査着に着替えていただきます。



③問診
注意事項や検査の流れを確認します。身長体重、血糖値も測定します。



④注射
薬剤（FDG）を静脈に注射します。



⑤安静待機
待機室にて、水（500ml）を飲んでいただき、約1時間安静にしてお待ちください。読書、会話等も画像に影響する場合がありますので、お控えください。



⑥排尿
撮影前にお手洗を済ませていただきます。薬剤（FDG）は尿として排出されますが、膀胱に薬剤が溜まった状態での画像撮影を避けるために、撮影直前に排尿していただきます。また、男性も便座に座っての排尿をお願いいたします。

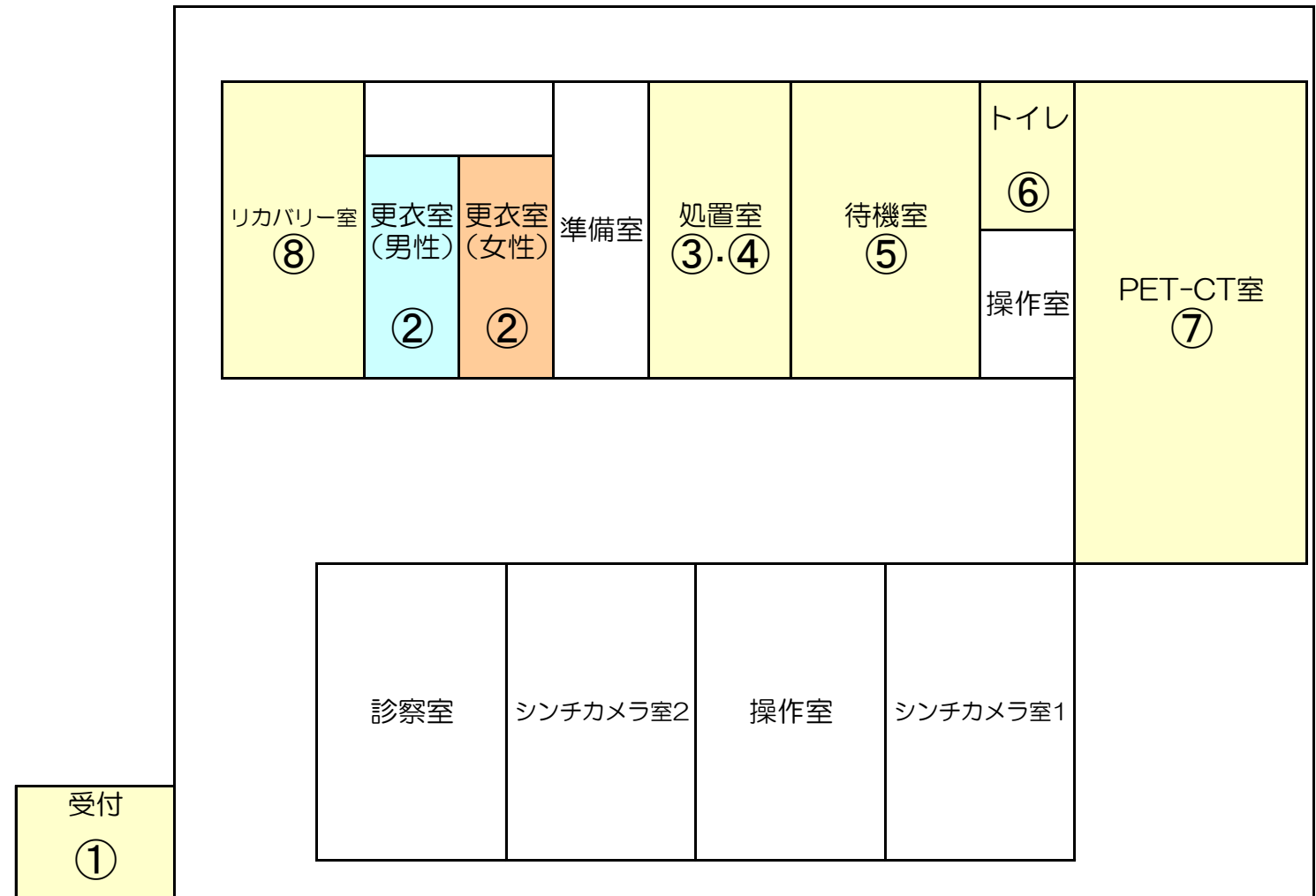


⑦撮影
PET-CT装置にて、約30分全身の撮影をします。



⑧リカバリー
撮影終了後、約30分間、投与した薬剤が減弱するのを待ちいただきます。

*必要に応じて、遅延相撮影（約20分）を行う場合があります。



【PET-CT検査の原理】

• からだを構成している細胞は、生きてゆくためのエネルギー源として『ブドウ糖』を必要としています。がんなどの悪性腫瘍は正常な細胞よりも増殖が盛んに行われるため、3~8倍のブドウ糖を必要とします。



• PET-CT検査は、このようながん細胞の性質に着目して、がんを発見する診断法です。ブドウ糖にごく微量の放射線を放出するフッ素-18 (18F) という『放射性同位元素』をくっつけた薬剤（以下、FDG）を体内に注射しPET-CTという装置を用いて、FDGの全身分布を撮影します。



• がん細胞にはFDGが正常細胞よりたくさん集まります。そこから放出される微量の放射線をPETカメラでとらえて、がん細胞の位置や大きさだけでなく、がんの進行度合いを調べます。

